

「道泉連区学校を守る会」は愛知県瀬戸市議会議長あてに 2017年2月10日、以下の請願書を提出しました。

瀬戸市小中一貫校施設整備計画の見直しを求める請願書

請願主旨

瀬戸市が現在進めている小中学校7校を1校とする計画は、十分な検討もないまま強引に行われています。今回の計画で小中学校が統廃合されることに対して、私たちは2つの重大な懸念を抱いています。

ひとつは今回の計画が道泉連区の子どもたちと地域にもたらす負の影響です。まず通学距離・時間が非常に長くなることで、子どもたちの健康や外遊びや学習にも影響します。また、長年地域と学校が協力してつくってきた子どもたちのための環境、取り組み、行事がなくなり、学校を中心とした地域の絆が弱まることです。道泉小学校と本山中学校は地勢的にも瀬戸市の中心部にあり、さらに瀬戸市の観光資源が点在し、歴史文化の趣を色濃く残すこの地域においてはこのまま計画が実行されればこの地域から子どもたちは姿を消し、学校近隣を理由にした人口流入は見込めなくなり、瀬戸市中心部の空洞化にますます拍車がかかることは間違いありません。

もう一つの懸念は、市が地域住民の疑問や願いに十分に応えることなく、住民の理解や納得が得られなくても一方的に計画を進めていることです。これまで瀬戸市全体の小中学校の在り方を検討することもなく、昨年3月末に突然計画が発表され、6月の地域説明会から1年に満たない余りに短い期間で、住民合意のないまま進めていく瀬戸市の姿勢に不信感を抱かざるを得ません。

「道泉連区学校を守る会」は以上のような理由から、瀬戸市に対して現計画の見直しを求めるとともに、瀬戸市全体の繁栄を望んでいます。

私たちはこの地域の子どもたちの学びと暮らし、街づくりの両面から、以下の事項について要請します。

請願項目

- 一、子どもたちのためにモデル地区の変更など、瀬戸市小中一貫校施設整備計画の見直しを行うこと。
- 二、地域住民の理解と納得が得られないまま、瀬戸市小中一貫校施設整備計画を進めないこと。

これまでの経緯 2016年度～

6/15 小中学校適正規模適正配置に係る地元地区説明会

質疑応答なしの決定ありきの説明会

11/1～道泉連区(学区を5つに分けて)地域説明会

6月の説明会より内容発展無し

12/4 第1回「道泉連区学校を守る会」(発足)

2/26までに5回開催

12/9 瀬戸市長要望書提出 教育長面談

面会の約束があったが市長不在

12/26 瀬戸市長要望書提出

何度も回答請求するも先延ばし 2/4に文書にてあり

1/15 署名活動開始

現在も署名活動継続中

2/10 請願書提出(10101筆)

3/24 本会議にて採決



※32年度開校予定の5小学校2中学校の大規模統合(○の所)
発表から数か月で合意形成なく計画が進もうとしています
行政になかなか声が届かず「請願」という形になりました

学校統廃合は地域住民の願い??

モデル校を建設であるがビジョンなしテスト校?

教育優先というが、財政優先

住民・保護者の意見を無視

約半年の意見交換でも問題点の解決なし検討のみで実行性なし

隣接した小中学校を活かせてない。しかも廃校?

駅から数百メートル小学校廃校?

校区の見直しは?

小学校も?

※道泉小学校 32年度 182人 34年度 188人
生徒数横這い

いきなり?

合意形成は!?

話を聞いて!

※6月に聞いて6月に決定!?
最初から決まっていた!?
市長さんが案って言ったのに

バス通学!?
文科省基準

小学校 4 km
中学校 6 km

どう解決?
(道泉校区対象外)

バス通学

※国の補助なく瀬戸市の税金で運営できる?
有料になってしまうのでは?

小中一貫校賛成

早期解決!?

※具体案提示ないのに大丈夫?

※今年度6月から始まり住民説明会2回のみ!



署名のご協力
お願いいたします!

行政

「道泉連区学校を守る会」は、瀬戸市の行う学校適正配置による「道泉小学校及び本山中学校」の廃校に関する事案で、地域の空洞化への懸念や将来の瀬戸市の健全な教育行政と瀬戸市そのものの発展に関して、重大な損失を受ける瀬戸市民の意を瀬戸市及び教育行政、瀬戸市議会等へ伝え、明るい将来を見据えて学校存続を提案しました。

「道泉連区学校を守る会」(愛知県瀬戸市)

瀬戸市長 伊藤保徳 様

教育長 深見和博 様

月 日

日頃は、瀬戸市政のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

今、瀬戸市が計画されている「小中一貫校」は、2中学校・5小学校を1校にするというもので、地元説明会やワークショップなどは開かれているものの、住民合意にはとても到っておりません。

道泉連区学校を守る会の「瀬戸市小中一貫校施設整備計画の見直しを求める請願書」は1万100筆を超え、市民の中にもこの計画は拙速過ぎるという声が広がっています。

今、計画を強引に押し進めるのではなく、住民との話し合いやその声を十分に尊重しつつ、子どもたちや地域にとってどのような教育・学校が良いのかをご検討下さるようお願いいたします。

わたくしの一言

住所

氏名

FAX 送り先 瀬戸市長 市役所秘書室 88-2505
教育長 教育委員会 88-2755